

## 4 流路工

### 4-1 木製流路工（三角枠型）

#### 特徴

杭打ちをしないので、基礎地盤に対する適応性が高い。  
部材寸法を変えることにより、通水断面の選定が自由である。  
木製品であるので景観の保全が図れる。  
トラス構造であり、兩岸を丸太で連結している所以強度が期待できる。

#### 施工場所

勾配の比較的緩やかなところに適する。

#### 施工方法

軽量なので玉石、礫等の中詰めするが、現場発生土砂礫も使用が可能である。

#### 全景



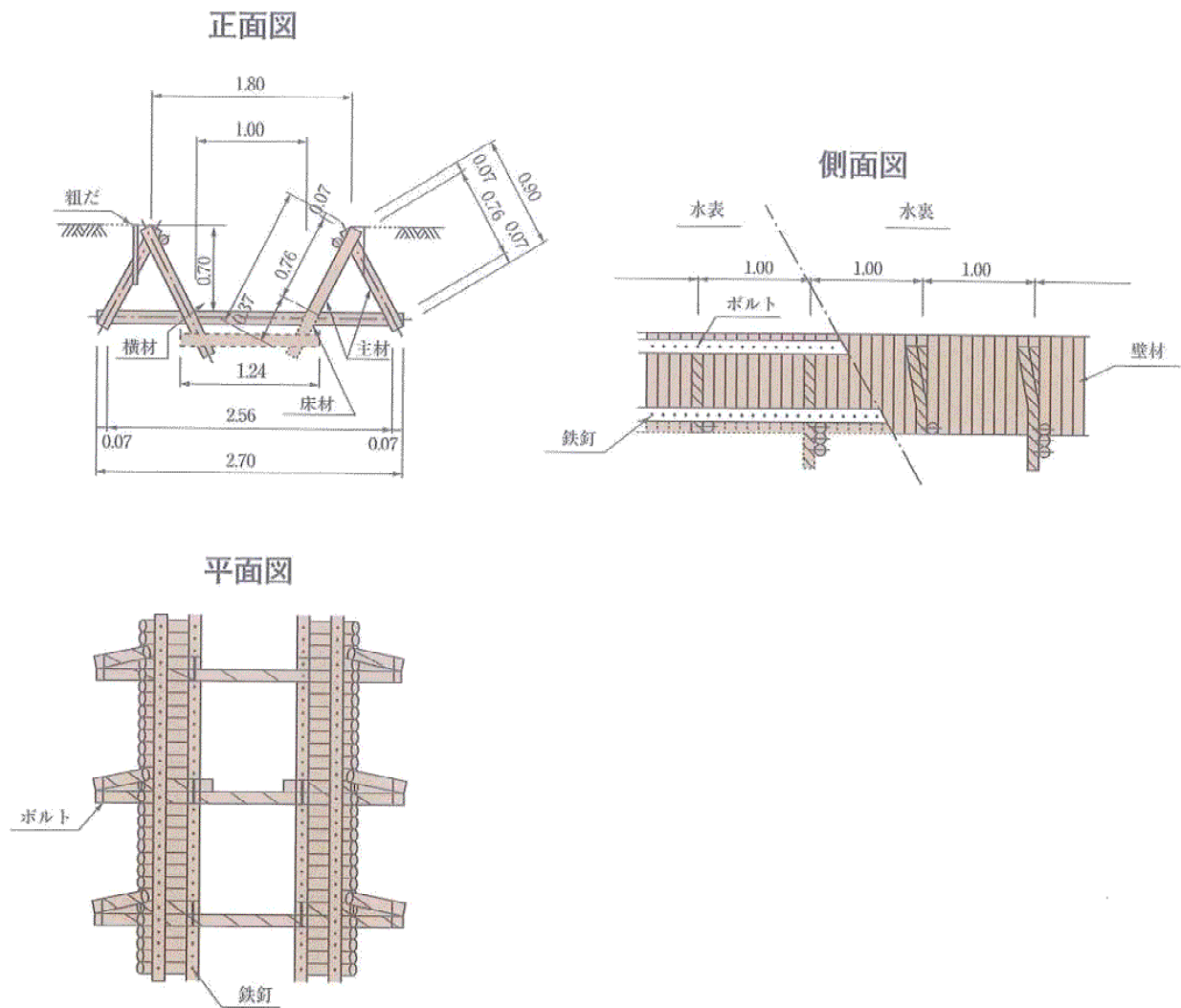
施工地：北海道厚田群厚田村

事業名：治山事業

施工主体：北海道石狩支庁

# 標準図

(単位：m)



材料・歩掛表

名称		形状・寸法	単位	数量		摘要
				本体	送り止め	
				10m	10カ所	
丸太	主材	φ 8cm × 1.200m	本	10.00		
		φ 8cm × 0.900m	本	30.00	40.00	
		φ 9cm × 2.700m	本	10.00	10.00	
	壁材	φ 8cm × 0.700m	本	20.00		
		φ 8cm × 0.900m	本	162.00		
	横材	φ 9cm × 1.800m	本	22.20		
	床材	φ 8cm × 1.240m	本	10.00		
ボルト	φ 13mm × 240mm	本	100.00			
鉄釘	15.2cm 2.38kg / 100本	kg	8.19			
立粗朶	0.500m	束	3.50			
普通作業員	主材床材組立（ボルト穴あけ・締付含む）		人	3.00	3.00	
	横材取付（ボルト穴あけ・締付含む）		人	1.70		
	壁材立て込み（釘打ち含む）		人	5.90		
	粗朶立て込み 0.05人/束		人	0.18		
材料のロス	木材の5%	%	5	5		

- 備考
- 1 本表には、20m 程度の小運搬を含む。
  - 2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。
  - 3 構造・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。
  - 4 粗朶は、必要に応じて計上する。

## 4-2 木製流路工（三面丸太型）

### 特徴

適応性が良く、施工地の条件に順応できる。  
側面からの浸透水も同時に排水できる。  
部材は短材や曲がり材であっても使用できる。

### 施工場所

流水の少ない、緩勾配の箇所に適用する。

### 施工方法

勾配のある場合には、帯工的な階段柵を設ける。

### 全景



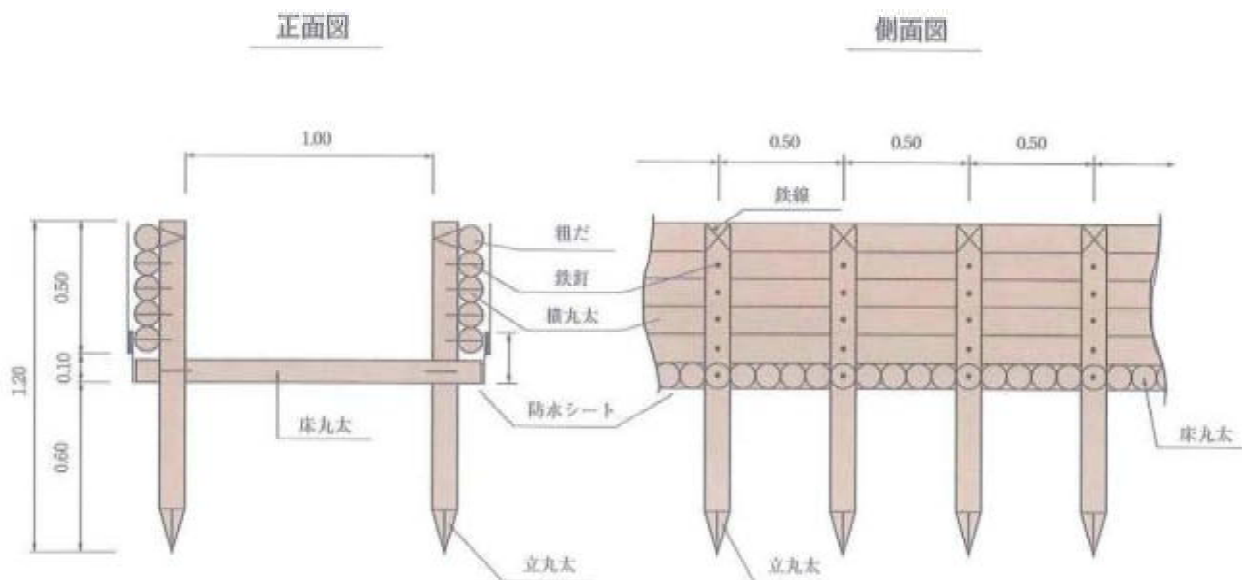
施工地：北海道勇払郡厚真町

事業名：治山事業

施工主体：北海道胆振支庁

## 標準図

(単位：m)



## 材料・歩掛表

名称	形状・寸法	単位	数量		摘要	
			本体	送り止め		
			両側 10m	両側 10カ所		
丸太	立丸太	$\phi 8\text{cm} \times 1.200\text{m}$	本	40.00	20.00	
	横丸太	$\phi 9\text{cm} \times 1.800\text{m}$	本	55.60		
	床丸太	$\phi 8\text{cm} \times 1.400\text{m}$	本	94.50		
		$\phi 8\text{cm} \times 1.000\text{m}$	本	18.00		
粗 朶	0.500m	束	3.60			
防水シート		m <sup>2</sup>	18.00			
鉄 釘	15.2cm 2.38kg / 100本	kg	4.76	2.38		
鉄 線	10# 63.1g / m	kg	3.03	7.57		
普通作業員	杭打 (根入率 70%以下) 0.06人/本	人	1.68	0.84		
	横丸太ねせ込み 0.06人/本	人	3.34			
	床丸太ねせ込み 0.18人/本	人	2.03			
	粗朶立て込み 0.05人/束	人	0.18			
	シート敷設 0.01人/m <sup>2</sup>	人	0.18			
	鉄釘打込 0.07人/10箇所	人	1.40	0.70		
	鉄線結束 0.15人/10箇所	人	0.60	1.50		
材料のロス	木材の5%	%	5	5		

- 備考
- 1 本表には、20m 程度の小運搬を含み、床堀・基礎・埋戻し等は含まない。
  - 2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。
  - 3 杭間隔・柵高丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。
  - 4 粗朶・防水シートは必要に応じて計上する。
  - 5 水面底面にフトン籠・ドレン籠等を用いる場合は、別途計上する。
  - 6 笠木は、必要に応じて計上する。（笠木取付 0.01 人／本）
  - 7 横丸太・床丸太にパネルを用いる場合は、ねせ込み手間を本表の 50%とする。
  - 8 本表は、鉄線・鉄釘を併用する場合であり、現場条件等により異なる場合は別途積算する。

### 4-3 木製流路工（三面丸太立使い）

#### 特徴

適応性良く、修景効果が優れており、常水のない緩斜面での施工に適している。  
側面からの浸透水も同時に排水できる。  
部材は短材や曲がり材であっても使用できる。

#### 施工場所

流水の少ない、緩勾配の箇所に適用する。

#### 施工方法

勾配のある場合には、帯工的な階段柵を設ける。

#### 全景



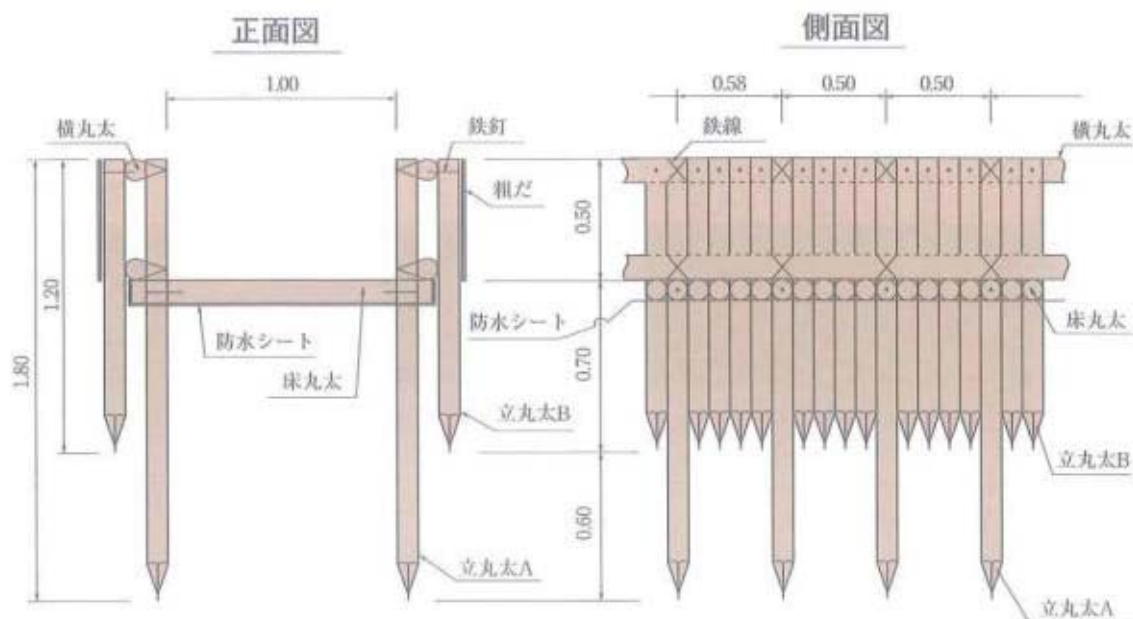
施工地：北海道檜山郡江差町

事業名：治山事業

施工主体：北海道檜山支庁

## 標準図

(単位：m)



## 材料・歩掛表

名称	形状・寸法	単位	数量		摘要	
			本体	送り止め		
			両側 10m	両側 10カ所		
丸太	立丸太	$\phi 9 \text{ cm} \times 1.800\text{m}$	本	40.00	20.00	
		$\phi 8 \text{ cm} \times 1.200\text{m}$	本	202.50		
	横丸太	$\phi 9 \text{ cm} \times 1.800\text{m}$	本	22.20		
	床丸太	$\phi 8 \text{ cm} \times 1.400\text{m}$	本	94.50		
		$\phi 8 \text{ cm} \times 1.000\text{m}$	本	18.00		
粗 朶	0.500m	束	3.60			
防水シート		m <sup>2</sup>	18.00			
鉄 釘	15.2cm 2.38kg / 100本	kg	6.31	0.95		
鉄 線	10# 63.1g / m	kg	6.06	3.03		
普通作業員	杭打 (根入率 70%以下) 0.12人/本	人	3.36	1.68		
	横丸太ねせ込み 0.06人/本	人	1.33			
	立丸太立込み 0.01人/本	人	2.25			
	床丸太ねせ込み 0.18人/本	人	2.03			
	粗朶立て込み 0.05人/束	人	0.18			
	シート敷設 0.01人/m <sup>2</sup>	人	0.18			
	鉄釘打込 0.07人/10箇所	人	1.86	0.28		
	鉄線結束 0.15人/10箇所	人	1.20	0.60		
材料のロス	木材の5%	%	5	5		



- 備考
- 1 本表には、20m 程度の小運搬を含み、床堀・基礎・埋戻し等は含まない。
  - 2 材料のロス（端材等）は5%を標準とする。
  - 3 杭間隔・柵高・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。
  - 4 粗朶・防水シートは、必要に応じて計上する。
  - 5 水面底面にフトン籠・ドレン籠等を用いる場合は、別途計上する。
  - 6 笠木は、必要に応じて計上する。（笠木取付 0.01 人／本）
  - 7 横丸太・床丸太にパネルを用いる場合は、立込み・ねせ込み手間を本表の50%とする。
  - 8 本表は、鉄線・鉄釘を併用する場合であり、現場条件等により異なる場合は別途積算する。

## 4-4 木製流路工（二面丸太）

### 特徴

適応性が良く、修景効果が優れており、常水のない緩斜面での施工に適している。  
側面からの浸透水も同時に排水できる。  
部材は短材や曲がり材であっても使用できる。

### 施工場所

流水の少ない、緩勾配の箇所に適用する。

### 施工方法

勾配のある場合には、帯工的な階段柵を設ける。

### 全景



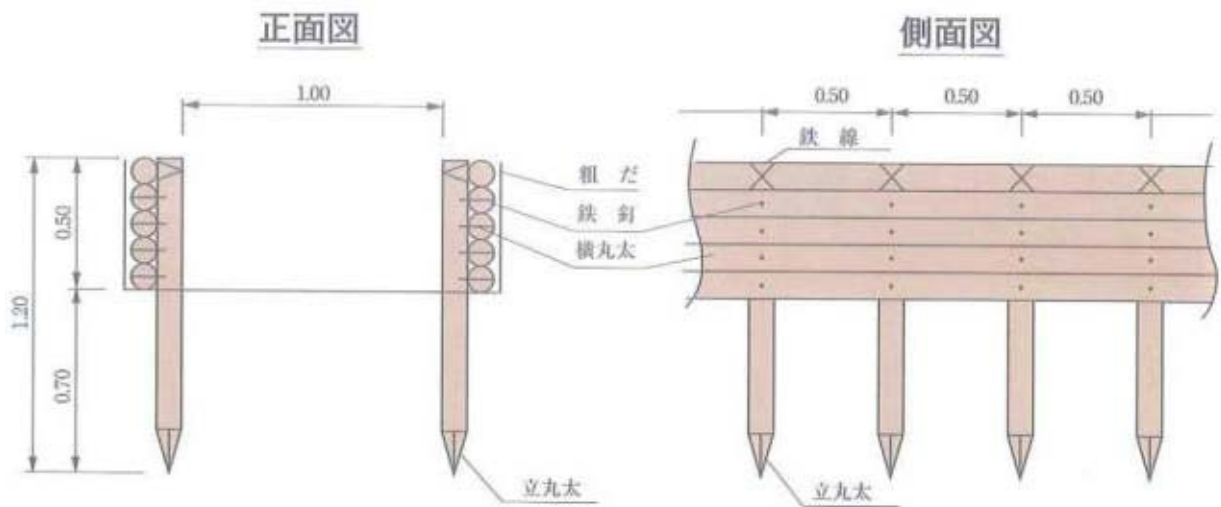
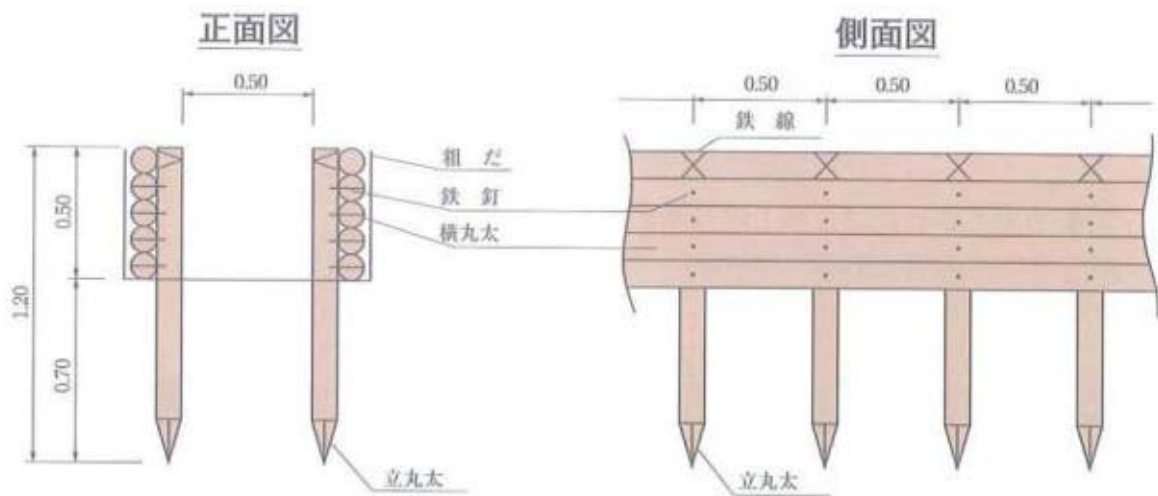
施工地：北海道勇郡穂別町

事業名：治山事業

施工主体：北海道胆振支庁

標準図

(単位：m)



## 材料・歩掛表

名称		形状・寸法	単位	数量		摘要
				本体	送り止め	
				片側 10m	10 力所	
丸太	立丸太	φ 8 cm × 1.200m	本	20.00	10.00	
	横丸太	φ 9 cm × 1.800m	本	27.80		
粗	朶	0.500m	束	1.80		
鉄	釘	15.2cm 2.38kg / 100 本	kg	1.90	0.95	
鉄	線	10# 63.1g / m	kg	1.51	0.76	
普通作業員	杭打 (根入率 70%以下) 0.06 人/本		人	0.84	0.42	
	横丸太ねせ込み 0.06 人/本		人	1.67		
	粗朶立て込み 0.05 人/束		人	0.09		
	鉄釘打込 0.07 人/10 箇所		人	0.56	0.28	
	鉄線結束 0.15 人/10 箇所		人	0.30	0.15	
材料のロス		木材の 5%	%	5	5	

- 備考
- 1 本表には、20m 程度の小運搬を含む。
  - 2 材料のロス (端材等) は、5%を標準とする。
  - 3 杭間隔・柵高・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。
  - 4 粗朶は、必要に応じて計上する。
  - 5 横丸太にパネルを用いる場合は、ねせ込み手間を本表の 50%とする。
  - 6 本表は、鉄線・釘打を併用する場合であり、現場条件等により異なる場合は別途積算する。